

「囲碁効能」 岡橋忠男

取られたら負けるのだから

相手は取られまいと思ひ

本当の所も

今日の結末も

二人は知らないのだから

それを二人で碁石でキャッチボールで

手談されれば

深いコミュニケーションの予感

割合でいかれたら負けなのだから

相手は半分以上と思ひ

こちらも半分以上と思ひ

本当の所も

今日の結末も

二人は知らないのだから

それを手談されれば

深いコミュニケーションの予感

達者になると

メンタルジェットコースターが体験できて

そこにはあらゆる感情がある

人生みたいとひそかに云われて・・・

2人で盤上をたたいているので

手拍子や祭囃子のように

乗って来る日も体験できて

自分たちより長く生きてる

木でできた碁盤や碁石の

アコースティックサウンドに包まれて・・・

当然勝負ができるので勝負師さんは満たされて
て

学者さんも そうか！にいっぱい出会います

アーティスト魂も満たされます

ポイントはここ・・・

それは相手のことはわからないのでコントロール

ールはできず

技術は付いていけないこともあるので
そんな中で絵を描くことだけが自分で
できること

そして強くなれます

しつかり慣れると強くなります

ポイントはゲーム自体があまりにも

シンプルだということ

これはもう慣れやすいです

慣れるとスラスラ出たり

ビシッ！と出たり・・・

囲碁を始めると

そうか！ということに

そうだったのか！ということに

いつばい出会う日々が始まります

今まではそうは見えてなかった
そうだったのにそうでなかった

それがそうか！そうか！そうだったのか！

と、ある程度続くとどうなるか

というと 想像通りで申し訳ないですが

そう だった の かー！！ と

奥深い所までストレッチされたりするわけ
です

そういう時間を一緒に過ごすと

人はどうなるのかというと

ずーっと昔から知ってた友か

という感じになります

あとオマケというか

打つことはたたくことで

たたき続けるので

とても発散になります

行儀が悪いですがしゃべりながら打つと

ダブル発散になります

打ちながらしゃべりながらその上そこに飲み
ながら

をいれるとトリプル発散も昔はOKでした

今はこういう時ですので加減してください

(囲碁梁山泊 107より)

